

洪水等防災情報フォローアップ検討会

1. 目的

平成18年6月に「洪水等に関する防災用語改善検討会」により「洪水等に関する防災情報体系のあり方について」及び「予警報文改善案」が提言され、わかりやすい防災情報の提供に向けた改善を進めてきた。これらを受け、今後継続的に、改善した用語が定着しているか、様式がわかりやすいかなどを把握・検討し、住民、防災担当者や報道機関等がわかりやすい防災情報の実現に向けた更なる改善を行う。

2. 検討事項

(1) 洪水予報等の伝え方の改善

洪水予報や水位到達情報等の様式等の課題を整理し、住民、防災関係者や報道機関等がわかり易い情報伝達や内容を検討する。また、FAX等のこれまでの伝達手段に加え、ユビキタス情報社会の進展に伴い発達する新たな情報伝達手段に合わせた情報内容や伝達のあり方を検討する。

(2) 防災用語定着のフォローアップと更なる改善

これまで改善を行ってきた用語が、住民、防災関係者や報道機関等の方々に、どのくらい定着しているのか等のフォローアップを行うとともに、防災用語の更なる改善を検討する。

3. 検討会の進め方

平成20年度内のスケジュール

第1回 平成21年2月9日(月)

第2回 平成21年3月(予定)

洪水等防災情報フォローアップ検討会委員

石川 芳治	東京農工大学大学院共生科学技術研究院教授
小室広佐子	東京国際大学国際関係学部准教授
田中 淳	東京大学大学院情報学環附属総合防災情報研究センター長・教授
谷原 和憲	日本テレビ放送網(株)報道局 社会担当部長
辻本 哲郎	名古屋大学大学院教授
山崎 登	日本放送協会解説委員
山本 孝二	(株)ハレックス会長

五十音順、敬称略
委員長(予定)